

## 令和 8 年度 遠野市立綾織小学校学校働き方改革アクションプラン

遠野市立綾織小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

### 目指す姿

- ・教職員一人一人が子どもと向き合い、ともに健康で、働き甲斐をもって職務を全うしている。
- ・教職員は、自らライフワークバランスの取れた働き方を見出す。
- ・管理職は、組織としての安全衛生管理を確実にいき、働きやすいよりよい職場環境への改善に取り組む。

### 働き方改革の重点取組

#### 取組① 時間外在校等時間の削減

- ・安全衛生委員会を適宜行き、働き方の状況等を共有し、時間外在校等時間の短縮化へ意識化を図る。
- ・職場内で、学級集団づくりや授業改善に関する声掛けや助言、支援を相互に行う。
- ・管理職を中心に、複式指導に係る負担軽減を組織的に行う。

#### 取組② 業務改善の推進

- ・安全衛生委員会を適宜行き、労働環境整備に努め、業務改善推進に向けて取り組む。
- ・地域や保護者に対し、教職員の業務改善に関する説明を積極的に行い、理解を得ていく。

#### 取組③ 「18時まで退庁」・計画的な休暇取得の促進

- ・毎週金曜日を「ノー残業デー」として設定し、定時退庁を働きかける。
- ・市内の会議等の際は、直帰を促していく。
- ・半日以上行使する年次有給休暇を、全員が年間5日以上取得するよう促していく。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	時間外在校等時間、月 45 時間超の人数は漸減しているが 0 人ではない。	時間外在校等時間が月 45 時間超の人数を 4 人以下に減少させる。	①・②・③
目標②	時間外在校等時間が年 360 時間超の人数が 7 人であった。	時間外在校等時間が年 360 時間超の人数を 4 人以下に減少させる。	①・②・③
目標③	特定の教職員に業務が集中しており、退庁が 20 時を過ぎる働き方が常態化している。	緊急時を除き「毎週 1 回以上 18 時まで退庁」達成を実人数で 7 人以上にする。	②・③

